

大学等名：長崎短期大学

テーマ：テーマⅣ（長期学外学修プログラム（ギャップイヤー））

【取組概要】クォーター制学事暦を採用し、2年間の学びを8ターム（準備・導入・実践・検証・定着・応用・発展・完成）にする。その中で学習効果を定着させるために、**実践ターム（1年次の8月～11月）をギャップイヤー**とし、「地域体験活動」、「海外留学」、「国内外インターンシップ」を体験する。そこで得られた知識や経験を佐世保市と連携した“Awesome Sasebo! Project”として展開し、地域に密着した課題解決型学外実習への取り組みとする。以後のタームでは学問的な定着を図る科目を配置し、学生自身が問題発見をし、学問的に解決していく力を身につけさせる。そのために学長のガバナンス機能を強化し全学体制でのカリキュラム改革を行う。

クォーター制学事暦

・教育成果について詳しく検証するスキームを構築
・2年間で8学期に分け、ギャップイヤーを設ける



ギャップイヤー

- ① 地域体験活動（サービ斯拉ーニング）
- ② 海外留学
- ③ 国内外インターンシップ

食物科・保育学科（専門職業人養成課程）

ギャップイヤーを利用して地域での体験活動の強化を図る。

国際コミュニケーション学科

地域体験、留学を通して「人生を見つける！」

学修成果の可視化

- ・IRシステムによる学修達成度の確認
- ・FD/SDによる教育の改善

地域との連携

（佐世保市と包括協定済）



Awesome Sasebo! Project

・ギャップイヤーを活かした地域連携型のプロジェクト

成果目標

① 地域理解

学生の地域理解の促進



② 専門スキル

地域の課題解決のために身につけるべき専門分野の知識や技術を修得



③ 社会人基礎力

コミュニケーション力、計画立案力等のコンピテンシー成果の向上



地域を支える

中堅人材



【事業の成果】

	27年度 (実績値)	28年度 (実績値)	31年度 (目標値)
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	27%	37.9%	90%
学生の授業外学修時間(1週間当たり)	6時間	5時間	28時間
学生が企画する活動数	12件	14件	18件

【事業実施による大学改革の加速効果】

・クォーター制の導入により、全学的にカリキュラム改革が加速され、より良い中堅人材を地方に輩出することができる。

【事業実施による大学全体への影響】

・地域理解力があり、自ら行動でき、コミュニケーション能力の高い学生を全学的に育成できる。